

トップメッセージ

持続可能な循環型社会実現に向け、ものづくりで社会に貢献し環境経営を実践してまいります。

持続可能な循環型社会実現に向けて

昨今の当社グループを取り巻く事業環境は、予想以上の速さで変化し続けています。メーカー間のグローバル規模での競争や提携の進展、原材料価格の高騰、エネルギー問題、資源問題、環境問題、企業の社会的責任に対する関心の高まりなど、その変化は目まぐるしいものがあります。

こうした外部環境の変化を前向きに捉え、持続可能な発展を目指していくことが、これからの当社グループの進むべき道であると考えています。

そのためには、まず経営基盤を強固なものとし、たゆまぬ努力と改善をかさねることで、グループの成長を図り、持続可能(サステナブル)な循環型社会の実現の一助を担うべくさまざまな活動を行ってまいります。

本年1月末、ビジネスのグローバル化・ボーダレス化によりますます競争が厳しくなる事業環境の中で、持続的発展と新たな展開を目指して「FDKグループの成長に向けた新たな方針と施策」を策定し、発表いたしました。



FDK 株式会社
代表取締役社長

杉本俊春

ものづくりで社会に貢献します

当社グループは、この成長に向けた新たな方針と施策に基づき、当社グループが創業以来培ってきた「素材技術」をはじめとする独自の技術を最大限に活かした特長あるものづくりを行い、より競争力のある事業展開を行ってまいります。

そして、「ものづくりで社会に貢献する」という理念のもと、Energy(エネルギー保障)、Environment(環境保全)、Economy(経済的効率)の3Eによる持続可能な循環型社会の構築とコンピュータネットワークに「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」がにつながることで、人々の生活をより豊かにするユビキタス社会の発展にむけて貢献していきたいと願っております。

また、特長あるものづくりの追求に加え、事業活動のすべての領域で、「生産革新」に取り組むことで、高収益企業への転換を進め、持続的な発展につなげていく所存です。



環境経営を実践します

近年の地球温暖化をはじめとする環境保全の問題は、待ったなしの状態になっています。本年7月にわが国で開催された洞爺湖サミットでは、人類が直面し解決にむけ努力すべき課題として「環境・気候変動」の問題が重要課題の一つとして取り上げられました。当社グループは、早くから環境問題を経営の重要課題の一つとしてとらえ、かけがえのない地球を次世代に伝えていくために「FDKグループは自然を愛します、かぎりある地球のために」をスローガンとして掲げ、事業の発展と環境保全の両立を図った持続可能な社会の実現を目指してきました。

そして、環境測定・分析、環境コンサルタント事業やリサイクル事業といった環境に特化した2つのグループ会社を立上げ、環境問題をビジネスチャンスとして捉える一方で、環境問題の解決に取り組んできました。昨年から全グループをあげて取り組んでいる第四期環境行動計画においては、電子部品・電池製造メーカーとして製品使用時のCO₂の抑制や省資源などでさらに貢献できるように製品環境対策に注力した活動を展開しております。

本報告書は、当社グループにおける2007年度の社会・環境活動の成果をまとめたものです。これらの活動に対する当社グループの取り組みをご理解いただけるものと考えております。皆様には、今後とも当社グループの活動に一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。